

経営のヒント81 未来を予想するとビジネスのヒントが見える!

地球温暖化がキーワード

ドラッカーが「未来」は「今起っていることにヒントがある!」といっています。

最近、地球温暖化が頻繁にニュースなどで取り上げられています。

昨日も映画「硫黄島からの手紙」を見ました。映画の内容はともかく、とっても気になったことは、地球温暖化がテーマの衝撃的な映画を来年一月公開するとの予告編のこと

【「ナショナル ジオグラフィック日本語版」編集長の「地球からの報告」】

消えゆく世界最大の森林

http://cmad.nikkeibp.co.jp/?4_5134_97840_68

世界最大の森林が広がる南米アマゾン。この地では、わずか1時間ほどの間に、なんとサッカー場150個分の森林が消失している森林の消失が問題になり始めたのは1970年代に入ってからで、過去40年間に20%近くが消え、今後20年間にさらに20%が失われると見られている。

これは、本日の日経ビジネスでのメレマガのニュース。

いろいろな情報メディアで、「地球温暖化」が取り上げられています。

これは、すごい「ビジネスのヒント」になるはずが、ほとんどの人達が、自分には関係ないと思っている。

「地球温暖化」この本質から考えると、未来(10年後)にはどうなるのかが予想されるはずである。

本質は何か? キーワードは何か?

私が考えるに…:

1つ目は、エネルギーの大転換。

石油からバイオ・水素・アルコールなどの環境に良いエネルギーに転換することを意味している。

そうすると電力・車・ガスなど全ての20世紀型の産業構造が大きく変わってくる。

2つ目は、食料問題。

地球の温度が変わるので、熱帯が砂漠へ、温帯が熱帯は、寒冷地が温帯へ、食料生産基地が大幅に変わる。すると人口問題以上に食物が戦略的なものになる。

3つ目は、水。(塩水ではなく、真水)

海水から真水にする浸透膜技術や汚水処理の技術が地球環境にとって重要な位置づけとなる。

4つ目は、二酸化炭素から酸素に変える環境問題。

森林の再生産。炭素固定技術。都市緑化技術。などなど。

5つ目は、法律や環境規制が当然強化されてくる法律・税制問題。

住宅や産業界全体に、環境に関する規制や税制が大幅に変わることが目に見えている。

…では、自分の関係する業界では、どのような取り組みが出来るのか? 一度考えると面白いですよ。

<経営のヒント>

主体的とは、「自分の周りに起っていることは、全て自分の問題と思うことです。」

まずは、自分が主体的に考えなければ、問題解決のヒントもチャンスも見えないものです。

日常の経営や仕事や家庭内、そして人間関係も同じこと

自分に関係ない! 自分の問題ではない! 客観的に見ている人には、チャンスもないのですね。

是非とも、「こうなったらいいな!」「こうあるべきだ!」と未来の「あるべき姿」や「ありたい姿」を想像してみよう。……未来が見える人がチャンスをつかむ!

人間は「希望なくして生きていけない!」「希望あるところにチャンスが来る!」